

平成 23 年 7 月 11 日

各 位

会社名 メビオファーム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤澤 忠司  
(コード番号：4580 TOKYO AIM)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 森崎 直幸  
(TEL 03-5777-2626)

### 中国製薬会社との技術導出に係る基本合意について

当社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤澤忠司）と中国の製薬会社（本社：中国北京市）は、平成 23 年 7 月 6 日に、当社の抗がん剤新薬 MBP-Y005（ゲムリポ）に関し、当社の保有する知的財産を利用した DDS 製剤に係る中国国内における製造権、開発権および販売権を当該中国製薬会社に許諾すること、共同にて開発、販売を委託することについて基本合意に至り、現在、本契約締結に向けた対応を進めております。

なお当社は、本契約の締結がなされた場合には、契約締結に伴う契約一時金、開発段階に応じたマイルストーン収入、販売後のロイヤリティー収入を得ることとなります。

MBP-Y005（ゲムリポ）は、すい臓がんの治療において、第一選択薬として 1996 年に承認されているゲムシタビンを、当社の技術でリポソームに内封した製剤であります。リポソーム化することにより、血中濃度を安全に長く維持させ、骨髄抑制、消化器症状が改善いたします。また、投与量の低減化、投与間隔の延長なども想定され、経済性の向上、患者 QOL の向上が期待されております。既に製剤化が終了し、今後、前臨床試験（動物試験）を進めて参ります。

当社は、がんの特化した治療薬の開発を行い、世界での上市を目指す創薬企業です。

当社は、これまで日本で作り出した技術を基に創薬を行い、米国で臨床試験を進めて参りましたが、今般の基本合意に伴い、開発初期段階の動物試験はもとより、ヒトの臨床試験についても、成長著しく、今後の発展が見込まれる中国市場から始め、その後、欧米、日本へと展開する方針に変更する所存であります。

以上